

青年対策交流集会報告書

全港湾東北地方

塩釜支部三陸分会 小野寺勇人

私は今回、愛知県豊橋にて開催された青年対策交流集会に2月24日から26日まで参加しました。

24日、全港湾の歴史を全港湾中央本部委員長、鈴木誠一さんの話を聞かせてもらいました。1時間という限られた時間だったので、全港湾の入り口しか話せないと言われてきました。現在、私達が働く上で当たり前となっている労働環境や福利厚生があるのは、全港湾の先輩達が国や会社と戦ったから今の生活がある、今の全港湾があると知りました。歴代の中央執行委員長の写真が乗っている資料があり、全港湾の歴史が感じ取れました。自分達も未来ある後輩達に、この全港湾を繋げて行けるように団結して頑張って戦って行こうと思いました。

25日のテーマが「原始力発電所建設阻止のたたかいから学ぶ」講師の方が真島勝重さんでした。

真島勝重さんが体験して来た巻原始の話を聞いて正直この話を知りませんでした。こんな歴史があるのだと、大変興味が沸きました。1人の力では弱いけど、皆の力で団結して反対運動をすれば原発は無くなると大変ありがたい話を聞かせてもらいました。

その後、各グループに別れ意見交換が開かれ議題が「キャラバンについて」

「青年部の活動について」「理想の職場環境について」でした。

「キャラバンについて」は、東北に住んでいる身として全国の人達に、福島の現状をメディアの報道とは違うことも伝えました。

「青年部の活動について」は後輩の育成に困っているなど、各支部の悩みを打ち明けました。

「理想の職場環境について」はやはり皆、残業をしなくても生活をして行ける賃金が理想の職場でした。

最後になりますが、この3日間大変勉強になり皆との団結がより深まった気がします。